



### 夏の町内行事から



7月28日(土) 双葉西集会所南側広場にて「平成30年度双葉西町会納涼祭・子ども花火大会」が開催されました。

台風接近のため天候は雨でしたが、広場にブルーシートで屋根を作りたくさんの町会の皆さんが参加され、焼きたての焼きとりや焼きそばが振る舞われました。

中野町会長は「台風が来ていたが、雨の中でも無事にできたのは良かった。雨もあって予想より参加者が少なかったのは残念です。」厚生部長の小原さんは「雨は降りましたが、たくさんの方に来て頂き、子どもの参加が多くて良かった。役員の方も大変だったと思います。ありがとうございました。」と、無事に行われたことに安心したようでした。今後の課題としてお二

人とも「誰でも参加しやすい雰囲気をつくり賑やかにしていきたいが、予算面が厳しいので内容の見直しの時期に来ているのかもしれない。」と話していました。



同時開催の「子ども花火大会」は集会所の屋根の下で行い、小学校PTA支部長の町田さんは「20人位の子どもたちが参加し、無事にできました。」と話していました。

参加人数や予算面など課題はありますが、このような町会の交流の場が今後も続くといいなと思っています。

(山本 律子)

### 夏の子供行事は、今…

行事を担ったPTA支部長さんが感涙…。安堵の影にご苦労が偲ばれました。

行事の概要を調査しました(下表)。町会の規模や特徴は異なりますが、少子化や多忙化が負担感を増幅しています。

① 伝統の男女別は宮田中町会に残るものの、青山様中心の男女合同の神輿巡行が定着。ぼんぼんはテープ音のみで、「風前の灯」状態です。

② 準備を含め、子供中心での執行はわずか。町会役員を含む大人の援助が不可欠です。

③ 参加状況は良好ですが、ラジオ体操のように、期間も縮小傾向です。

「施設入所前に青山様を一目見たい」と心待ちしたご老人がいました。子供達の貴重な体験であるのはもちろん、伝統行事がない松南地区では、三九郎も含め子供行事は住民の灯火でもあります。「映像などで青山様を知ることがほしい」との声もあり、意義を子供も大人も共有し直す時期でもありません。ラジオ体操では合同開催が始まっていますが、青山様やぼんぼんも住民協力の工夫も求められています。

(白澤 幸男)

### 松南地区 夏の子供行事の現状

町会	児童数	青山様・ぼんぼん								ラジオ体操				
		実施日	参加状況(概数など)		巡行の形態		主な巡行対象(概数など)		神輿づくり		実施日	参加状況(概数など)		
			子供	大人	男女別	男女合同	個人中心	事業所中心	子供中心	大人中心		子供	大人	
南松本1丁目	10人	8/1~2	10人	8人			○	○			○	7/26・27・30 31・8/1	9人	2人
南松本2丁目	18人	7/26	17人	10人			○	○			○	7/26~8/1	15人	14人
双葉町	25人	7/30~31	20人	15人			○	20戸	50社		○	7/26・27・30	25人	3人
芳野町	73人	8/2~3	60人	20人			○	○			○	7/30~8/3	57人	23人
双葉南	9人	7/26	8人	9人			○	○			○	7/30~8/3	4人	4人
双葉西	25人	9/1	25人	8人	「なんぶ未来まつり」に一本化						○	7/30~8/3	10人	3人
宮田東	18人	8/1~2	15人	10人			○	50戸	10社		○	7/26・27・30・31	16人	5人
宮田中	63人	8/1~3	60人	20人			○	160戸			○	7/30~8/3	50人	15人
宮田西	30人	7/31~8/1	26人	15人			○	100戸			○	7/26~8/3	25人	5人

### 夏休みと 町内公民館活動



南松本2丁目では、毎年皆さんが楽しみにしてる夏祭りが昨年は途中で大雨になり最後まで出来ませんでした。今年も天気の良いさそうな7月開催となりましたが、気象異常のためか、残念ながら台風で中止となってしまいました。

子ども達には気の毒でしたが8月に入り昨年好評だったポテトさんによるマジックショーやポッチャというパラリンピックの種目にもなっている競技を公民館内で楽しめたようです。

夏休み恒例のラジオ体操は、以前夏休みに毎日だったものですが、今は4日程の日程で行われています。体操が終わった後は公園内の清掃や草むしりなどもしてもらいました。そして青山様とぼんぼ

んは、7月26日に男女合わせて17名と少人数でしたが、PTAや役員の方の協力を得て行うことができました。

また8月の4・5日は子ども達だけで公民館の小部屋を利用して夏休みの宿題をやる機会を設けました。

このように、子ども達が普段から町内の活動に参加して、子育て世代の若い人や高齢者の方と触れ合う機会が増える事で情報共有ができ、活性化が進みこれからの町内の活動も楽しみになってきます。幸いにも町内には集会所に広場が併設され安全なことも大きな魅力です。

夏休みも大きな災害なども無く町内の活動が皆さんの協力を頂きながら無事に過ごせました。

これからもなるべく多くの方が参加していただき、役員と共に町内公民館活動を進めていき、未来のある子ども達に引き継いでいってほしいと思います。

夏休みも大きな災害なども無く町内の活動が皆さんの協力を頂きながら無事に過ごせました。

これからもなるべく多くの方が参加していただき、役員と共に町内公民館活動を進めていき、未来のある子ども達に引き継いでいってほしいと思います。



(大西 織彦)

## 追悼 伊藤和彦さん



公民館報松南版編集委員の伊藤和彦さんが8月13日逝去されました。59歳でした。

伊藤さんは会社経営をされる傍ら、双葉南町会長、地区緑化推進協議会会長、地区花いっぱいにする会会長を務めていました。

病をおしての激務に、よくここまで耐えて頑張ってきたものだと、頭が下がります。

伊藤さんは、館報編集委員として5年5カ月、この内、平成28年度より2年間、全市版の編集委員も務めました。この全市版の委員は、焼き鳥屋での酒席でお願いしたものでした。「そこまで委員長、副委員長がおっしゃるなら2年間だけやります」と、快諾していただきました。結局この日が最後の飲酒になったのではないかと思われま

伊藤さんといえば、「焼きそば」でした。双葉南名物とも言われています。ゴールデンスウィークに開催される町会の「子どもまつり」、「なんぶ未来まつり」の双葉南町会の出店、「福祉ひろばまつり」の目玉は焼きそばでした。

編集委員会、秋の「きのこ鍋会」の伊藤さんの一品は、美味しかった。

(塩原 保彦)

## コラム松南

●SDGsは世界の合言葉

2015年9月、国連サミットで採択された2030年までの国際目標のこと、日本では「持続可能な開発目標」(エスディージーズ)と言っている。持続可能な世界を実現するための様々な分野での取組で構成されている。身近な課題で言えば、「貧困をなくそう」「すべての人に健康と福祉を」「質の高い教育をみんなに」「住み続けられるまちづくりを」「気候変動に具体的な対策を」等がわかりやすい。どれも私達の生活の中で感じる課題と言える▼現在、国という大きな枠では動き始めたところだが、具体的な目に見える取組が重要である。中には貧困をなくす取組としての「こども食堂」、健康と福祉の関係の「こども医療費の窓口無料化」といった具体的な取組も始まっており、前進面と言える。一方、まだ具体策が見えてこないものも多くある▼国は世界をリードするとの立場から、今後も様々な取組を打ち出してくる。最終的には私達一人一人の意識と行動にかかってくる。すべての人々と力を合わせSDGsの実現を目指したい。(近藤 晴彦)